

CBMOC会員様インタビュー Vol.12

東京・大阪・福岡。3拠点の各地にいらっしゃるお客様が、もっと他のお客様のことを知ることでできる機会をつくりたい！という思いから、今号もCBMOC会員様のインタビューを掲載させていただきます。

今回は、熊本県で事業を営む、株式会社総合内装業 TANAKA の代表取締役、田中龍太様にインタビューしました。



◆プロフィール

お名前：田中龍太 社長歴：5年目
社長の趣味／休日の過ごし方：子どもと遊んだり、サーフィンをしたりすることが多いです。

◆座右の銘

「人に出来て俺に出来ない事は無い。同じ人間だから。」
いつもこのことを思いながら生きています。あの人の出来るのだから自分にもできると思い、色んなことに挑戦しています。



◆これまでの経緯

高校を卒業後、最初に入社した会社を半年で退職し、友達の家で働いていた内装業の会社に就職しました。社長はとても温かく接してくれて、社長の家族に囲まれながら、会社のために死ぬほど働きました。60日間休みがない時期もあり、毎年の恒例行事みたいに繁忙期は休みなく働くことが当たり前でした。それでも、仕事は楽しかったし、一緒に働いている人たちも好きだったので、働き方以外に不満はありませんでした。社長が事務所に帰ってきてから、自分以外の社員が全員帰った後も、社長の仕事を手伝っていました。その分、社長しか知らないスキルや知識を学ぶことができました。

26歳の時、社員として働いていた先輩から「独立する」という話を聞き、自分も「挑戦したい！独立してみたい！」と思いました。その思いを社長に伝えると、社長から「26歳で独立はまだ早いんじゃないかな。最初から1人は難しいだろうから、その先輩社員と一緒に独立をして、経験を積んでから個人で独立しなさい」とアドバイスをもらいました。そこで、社長の話を聞いて先輩と一緒に独立し、会社を立ち上げました。

しかし、その先輩は全く仕事をせず、釣りやパチンコをしているような人だったので、正直、会社は私が回している状態でした。最終的には「材料費が足りないから、お金を貸してほしい」と頼まれるようになり、お金を返してくれていないにもかかわらず、毎月毎月お支払いされるようになりました。その時、私は「この会社はもうだめだ！」と思い、独立する決心をしました。

29歳で独立する直前、現場で出会わせていただいたある社長によくいただき、様々な研修を紹介していただきました。研修を通じて、たくさんの学びや気づきがありました。思ったことを実現することが成功であるからこそ、独立してからは会社の目標や自分の目標を掲げて常に持ち歩き、思いを常に言葉にすることを大切にするようになりました。

◆社員との関係の質を上げるために意識してやっていること

社員と社員の家族の誕生日には、必ずプレゼントを渡すようにしています。やはり、家族があつての仕事であると考えているので、社員の家族まで、きちんと大切にしたい、と心から思っています。

また、今年の新年会の際は、初めて社員の家族まで参加してくれました。企画した当初は「家族を呼んで新年会をしよう！」と伝えても、社員はあまり乗り気ではなかったのですが、理念浸透合宿を行ってから、「やりましょう！」と積極的になってくれるようになりました。新年会では、社員から家族に対して感謝の言葉を伝え、花束を手渡ししてくれたことが本当に良かったです。

◆経営者の仕事を一言で言うと？

「より多くの人々を幸せにすること」

これは社員だけでなく、お客様・自分の家族・社員の家族、そして縁のある全ての人達を幸せにすることだと考えています。



◆会社概要

社名：株式会社総合内装業 TANAKA

業種：総合内装業

本社所在地：熊本県熊本市

(株)総合内装業 **TANAKA**

従業員数：9名

MOC 継続年数：1年目

◆社員が育ったなあと感じたエピソード

理念構築合宿で理念を創り、社員と理念浸透合宿を実施し、月1回のプロジェクトをしていく中で、社員の変化をすごく感じます。プロジェクトでは、いつも自社の理念に対するアウトプットをペアで行っているのですが、メンバーが理念への思いをたくさん話してくれるようになりました。

特に変わったのは、一番年齢が若い社員だと思いますね。それまでは年頃ということもあり、「仕事よりも、遊びの方が全力！」という感じだったのですが、今では目の色を変えて仕事を頑張ってくれています。採用の説明会も彼1人に任せられることができるようになり、本当に頼もしく感じています。ある時、プロジェクトで話し合っていた際には、彼が涙を流しながら、今思っていることを素直に話してくれた瞬間があり、私も感動しました。少しずつ、会社が変わってきたな、と実感しています。



◆経営者になって一番大変だったこと

昨年の10月くらいのことですが、実は会社のナンバー2・3・4だった3名が半年間で全員退職することになりました。私としては、経営者の役割を全うするため、私が抱えていた仕事を少しずつ渡し、社員それぞれに様々な役割を与えていたつもりでした。しかし、社員にとっては「役割を押し付けて、社長は自分だけ楽をしようとしている」と感じたらしく、気づけば一気に3名辞めてしまいました。その時、先輩社員が辞めていく姿を見ていた一般社員たちに対して、不安と負担をかけてしまったことが本当に辛かったです。

◆田中社長が前向きな理由を教えてください

—ヤスタエンジニアリング株式会社 安田取締役からの質問

人生って一度っさりじゃないですか。身も心も頭も使い切って、死ぬ時には「俺の人生ってめっちゃ最高だったな！より多くの人を幸せにできたな！」といたいと考えているんですね。命を繋いでくれた先祖のためにも、責任を持って人生を生きていくっていつも思っています。「死ぬこと以外かすり傷」ですからね(笑)

◆最近勉強になった本

『目標達成の技術』

青木仁志

著者である青木さんを尊敬しており、この書籍を選びました。最近、参加したセミナーで、この本の内容と全く同じ話を聞き、たくさんの気づきももらいました。ぜひ、読んでみてください！

目標達成の技術

◆担当の柴田より一言

田中社長はお会いするたびに「社員にもっと幸せになってほしい！」と熱い思いを持ってお話をされている姿が大変印象的です。

社員1人ひとりとそのご家族に対して、「自分は何ができるのか？」を常に考えていらっしゃいます。その結果、今では退職者が減り、感謝を大切にできる温かい組織を構築中です。また、いつも明るいつい田中社長は福岡の元気経営塾でもムードメーカーで、塾中はもちろんのこと、懇親会でもいつも場を盛り上げてくださいます。ただ、「寝る時間がもったいない！」とのことで、いつも睡眠時間を削って働かれており、眠そうにされている様子を見ますので、担当としてお身体は少し心配です。これからも共に採用と育成を通して、温かい会社づくりのお手伝いをさせていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。



◆次号インタビューの株式会社アドバンの田中社長に聴いてみたいこと

新しいアイデアを考える時、絞り出す時、ひらめく時…そういった時はどうされていますか？ また、新しいアイデアのためにどんなことを大切にされていますか？例えば、複数個アイデアが生まれた時は、全て実践しているのか、逆にアイデアを絞り込むとしたら、何を判断基準に絞られているのか、教えていただきたいです！